

M-AUDIO®

air

192|14

ユーザーガイド

付録

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるとな場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] <http://m-audio.jp/>

[サポート] <http://m-audio.jp/support/>

ユーザーガイド

はじめに

同梱物

AIR 192 | 14
電源アダプター
USB-C > USB-C ケーブル
USB-C > USB-A ケーブル
1/8" (3.5 mm) > MIDIアダプター x 2
Software Download Cards (英文)
ユーザーガイド/保証書

サポート

本製品の最新情報（ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など）や製品登録に関してはm-audio.comをご確認ください。

製品のサポートはm-audio.com/supportをご確認ください。

セットアップ

オーディオセットアップ

Windowsユーザー：AIR 192 | 14をコンピューターに接続する前にドライバーをインストールして下さい。

1. m-audio.com/driversで最新のAIR 192 | 14ドライバーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてドライバーをインストールします。
3. エンドユーザ-使用許諾契約を読んでAgreeをチェックし、Nextをクリックして続けます。
4. Installをクリックしてインストールを開始します。インストール中AIR 192 | 14をコンピューターに接続して下さいと言われることがあります。インストール中に他のシステムメッセージが表示されたら、Installをクリックします。
5. インストールが完了したら、Finishをクリックします。

Windowsドライバーを使用するにはM-Audio AIR 192 | 14コントロールパネルを開きます。ここではPreferred Buffer Size (バッファサイズ) とSample Rate (サンプルレート) を設定できます。

AIR 192 | 14をデフォルトの再生デバイスとして設定するには、以下の手順に従ってください。

Windows :

1. 付属のUSBケーブルを使用してAIR 192 | 14をコンピュータに接続します。AIR 192 | 14の電源を入れます。
2. タスクバーで音量コントロールを行なうスピーカーアイコンを見つけます。スピーカーを右クリックして**再生デバイス**を選択します。
または、**スタートメニュー > コントロールパネル (クラシックビューでは設定 > コントロールパネル) > ハードウェアとサウンド > サウンド**と進みます。
3. Windowsの**サウンド**コントロールパネルで、**再生**タブを選択し、デフォルトのデバイスとして**AIR 192 | 14**を選択します。
4. **録音**タブをクリックし、デフォルトのデバイスとして**AIR 192 | 14**を選択します。
5. 右下隅の**プロパティ**をクリックします。
6. 新しく開いたウィンドウで、**詳細**タブをクリックし、既定の形式として**2チャンネル、24ビット、48000 Hz (スタジオの音質)**を選択します。
7. **排他モード**の下の方のボックスのチェックを外します。
8. **OK**をクリックして**プロパティ**ウィンドウを閉じます。
9. **OK**をクリックしてサウンドコントロールパネルを閉じます。

macOS :

1. 付属のUSBケーブルを使用してAIR 192 | 14をコンピュータに接続します。AIR 192 | 14の電源を入れます。
2. **アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI設定**に行きます。
3. **オーディオ装置**ウィンドウで左カラムにある**AIR 192 | 14**を選択します。
4. **AIR 192 | 14**を右クリックし、**このサウンド入力装置を使用**を選択します。
5. **AIR 192 | 14**を右クリックし、**このサウンド出力装置を使用**を選択します。
6. Audio MIDI設定を終了します。

お使いのソフトウェアとAIR 192 | 14を設定する

Pro Tools | First M-Audio Editionを設定する

1. 付属のUSBケーブルを使用してAIR 192 | 14をコンピュータに接続します。
2. Pro Tools | First M-Audio Editionを立ち上げます。
3. **設定 > プレイバックエンジン...**を選択します。
4. **プレイバックエンジン**のプルダウンメニューを開き、**M-Audio AIR 192 | 14**を選択します。
注：プロジェクトを保存し、再起動する必要があります。
5. **サンプルレート**を選択し、**OK**をクリックして設定ウィンドウを閉じます。
6. **Setup > I/O**と進み、**M-Audio AIR 192 | 14**を**Input**および**Output**デバイスとして選択します。
7. これでオーディオおよびMIDI信号を入力可能になり、録音されたオーディオも出力されます。

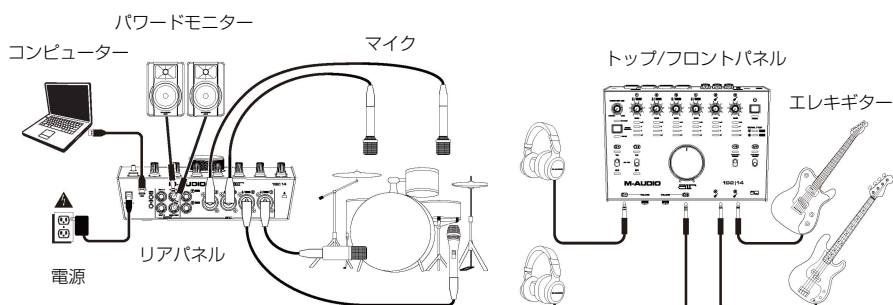
Ableton Live LiteとAIR 192 | 14を設定する

1. 付属のUSBケーブルを使用してAIR 192 | 14をコンピュータに接続します。
 2. Ableton Live Liteを立ち上げます。
 3. **Preferences**から**Audio**タブを選択します。
 4. **Driver Type**をクリックし、**CoreAudio (Mac)**か**ASIO (Windows)**を選択します。
 5. **Input**および**Output Config**で**AIR 192 | 14**を選択します。
 6. **Sample Rate**を選択し、**Preferences**ウィンドウを閉じます。
- これでオーディオおよびMIDI信号を入力可能になり、録音されたオーディオも出力されます。

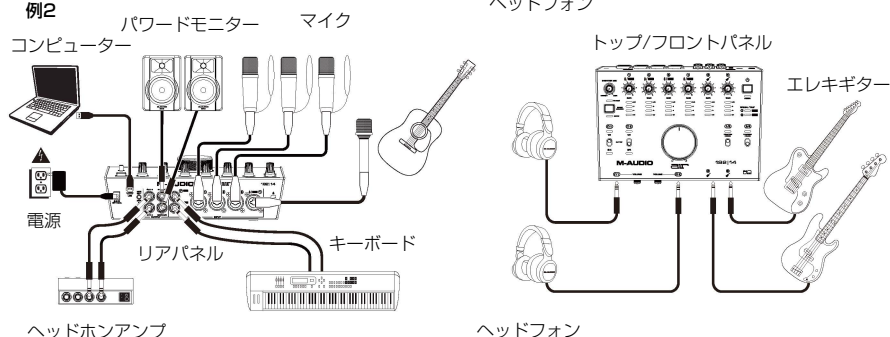
接続図

同梱物にないものは別売です。

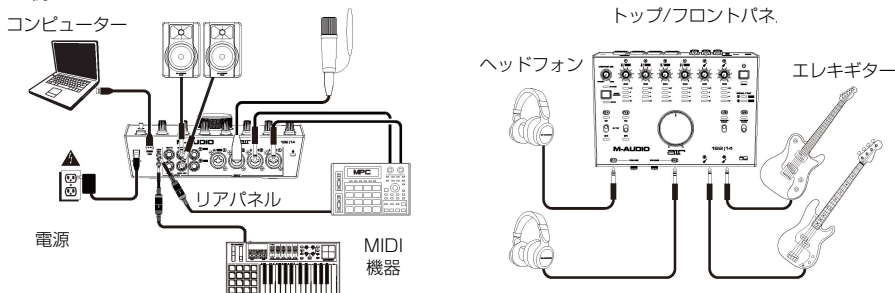
例1



例2

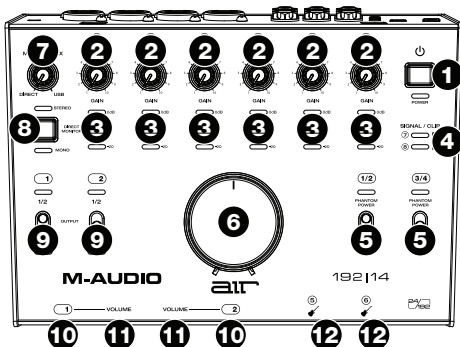


例3



トップパネル

1. **電源ボタン**：AIR 192 | 14の電源のオンオフを行ないます。ボタンの下のPOWER LEDが電源が入っているときに点灯します。
2. **INPUT GAINノブ**：入力ゲインを調整します。ノブの下にある**LEDメーター**を確認しながら、なるべくCLIPが点灯しない(音が歪まない)程度にゲインを調整します。
3. **LEDメーター (入力1-6)**：背面のコンボ入力端子やインストールメント入力端子からの入力レベルを表示します。
4. **LEDメーター (入力7-8)**：ライン入力端子からの入力レベルを表示します。このLEDは信号が-20 dBFSを超えると緑色に点灯し信号がクリップしたりピークに達すると赤色に点灯します。
5. **PHANTOM POWER(ファンタム電源)スイッチ**：コンボ入力1-2または3-4のファンタム電源のオンオフスイッチです。アクティブにするとファンタム電源は+48Vを選択した入力に供給します。コンデンサーマイクと違い、ほとんどのダイナミックマイクとリボンマイクはファンタム電源を必要としない点に注意してください。ご使用されるマイクにファンタム電源が必要かどうかは、各マイクのマニュアルでご確認ください。
6. **モニターレベル・ノブ**：メイン出力から出力されるレベルを調整します。メイン出力にはパワードモニターなどアンプシステムを接続します。
7. **MONITOR MIXノブ**：入力端子からのオーディオ信号(Direct)とコンピュータからの信号(USB)のバランスを調整して、メイン出力およびヘッドフォン出力に送ります。



このノブは、DAWに録音する際のレイテンシー(音の遅延)を解消するのに有効です。レイテンシーとは、入力音(楽器の演奏、歌など)と出力音(DAW経由で聞く音)の間に発生する音の遅延です。

レイテンシーは通常DAWの設定、オプション、デバイス設定などにある「バッファサイズ設定」で多くの場合解消されます。バッファサイズの値が高いとレイテンシーも大きくなります。バッファサイズを小さい値に設定すると、レイテンシーも小さくなります。バッファサイズを低く設定すると、コンピュータのCPUに負荷がかかるためノイズが発生する場合があります。これを避けるには、バッファサイズの値を少し高くする必要があります。

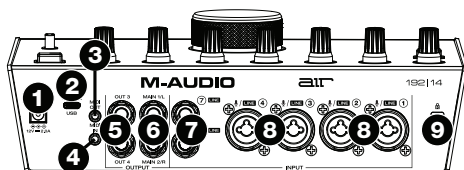
もし録音中にレイテンシーを感じた場合、このノブを**DIRECT** 側に回すことで入力している音声をダイレクトに**メイン出力**および**ヘッドフォン出力**に送ります。これによりDAWから出力される楽器の伴奏を聴きながら、レイテンシーを感じずに演奏や歌を録音することが可能です。録音後DAWの再生音を聴く場合には、このノブを**USB** 側に切り切ります。

お使いのコンピュータが十分にパワフルで、バッファサイズの調整だけでレイテンシーを解消できる場合には入力をダイレクトにモニターする必要がないため、このノブはUSB側に切り切ったままで使用してもよいでしょう。この場合は**MONITOR MIX**を常に**USB**の位置に設定して、DAWのオーディオ出力のみをモニターします。

8. **DIRECT MONITORセクター**：信号をダイレクトにモニターすることができます。キーボードからのステレオ信号やオーバーヘッドドラムマイクなどのステレオマイク設定を直接モニターしたい場合に便利です。このスイッチを押された状態にしておく（緑色のMono LEDが点灯します）すべての入力が合成された形で入力信号がモノラルでダイレクトにモニターされます。ギターやボーカルのマイク信号をモニターするのに便利です。
9. **ヘッドフォンソースセクター**：このスイッチはどの出力（リアパネル）をヘッドフォン出力に送信するかを選択します：**メイン出力1-2（1/2）**または**出力3-4（3/4）**
10. **ヘッドフォン出力（フロントパネル）**：1/4"（6.35 mm）TRSヘッドホンを接続します。出力されるミックスは、**ヘッドフォンソースセクター**、**MONITOR MIXノブ**、**DIRECT MONITORセクター**、**ヘッドホンVOLUMEノブ**の設定によります。
11. **ヘッドホンVOLUMEノブ（フロントパネル）**：ヘッドホン出力レベルを調整します。
12. **インストゥルメント入力（5-6）（フロントパネル）**：パッシブピックアップ搭載のギターなどのハイインピーダンス信号を1/4"（6.35 mm）TSケーブルを使って接続します。入力された信号は**LED メーター**に表示されます（**入力5-6**）。

リアパネル

1. **電源**：付属の電源アダプターを接続します。**電源ボタン**でAIR 192 | 14のオンオフを行います。
2. **USBポート（Type C）**：MIDIデータをコンピューターとやり取りする際に使用します。付属の「USB-C > USB-C ケーブル」または「USB-C > USB-A ケーブル」を使用してコンピューターに接続します。AIR 192 | 14との接続にはコンピューター側にUSB 2.0以上のポートが必要です。
3. **MIDI OUT**：付属の1/8" - MIDIアダプターと標準の5ピンMIDIケーブルで外部MIDI機器（シンセサイザー、シーケンサー、ドラムなど）のMIDI入力に接続します。
重要：オーディオデバイス（ヘッドフォン、モニターなど）をこのジャックに接続しないでください。付属の1/8"（3.5 mm）> MIDIアダプターを使用してMIDI機器のみを接続してください。
4. **MIDI IN**：付属の1/8" - MIDIアダプターと標準の5ピンMIDIケーブルで外部MIDI機器（MIDIコントローラーなど）のMIDI出力に接続します。
重要：オーディオデバイス（ヘッドフォン、モニターなど）をこのジャックに接続しないでください。付属の1/8"（3.5 mm）> MIDIアダプターを使用してMIDI機器のみを接続してください。
5. **OUT（出力）（3-4）**：標準の1/4" TRSケーブルでヘッドフォンアンプ、コンプレッサーなどの外部プロセッサなどに接続します。レベルは自動的に+ 4dBuになります。
6. **MAIN OUT（メイン出力）（1-2）**：標準の1/4" TRSケーブルでパワードモニター、アンプシステムなどに接続します。これらの出力は**MONITOR MIXノブ**と**DIRECT MONITOR**ボタンの設定によります。この出力レベルは**モニターレベル・ノブ**によってコントロールされます。
7. **LINE（ライン）入力（7-8）**：標準の1/4" TRSケーブルでミキサーその他のラインレベルの機器を接続します。**LEDメーター（入力7-8）**で入力信号レベルを確認します。
8. **コンボ入力（1-4）**：マイク、アクティブピックアップ搭載のギターやベースを、ラインレベルの機器を接続します。マイクを接続するときは、XLRもしくは1/4"（6.35 mm）TRSケーブルを使います。アクティブピックアップ搭載のギターやベースの場合は標準の1/4" TSケーブルを使います。ラインレベルの機器は1/4" TRSで接続します。入力された信号は**LED メーター**に表示されます（**入力1-4**）。
9. **ケンジントンロックスロット**：ケンジントンロック用のスロットです。



技術仕様

すべての仕様は20kHzバンド幅で計測しています。

マイク入力1-4 (バランス XLR)	
ダイナミックレンジ	113 dB (A-weighted)
THD+N	0.001% (1 kHz, +4 dBu, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.2 dB)
プリアンプ EIN	-137 dBu (40 Ω source, A-weighted) -129 dBu (150 Ω source, unweighted)
最大入力レベル	+14 dBu
ゲインレンジ	62 dB

ライン入力1-4 (バランス 1/4" [6.35 mm] TRS)	
ダイナミックレンジ	113 dB (A-weighted)
THD+N	0.001% (1 kHz, +4 dBu, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.1 dB)
最大入力レベル	+30 dBu
ゲインレンジ	61 dB

インストゥルメント入力5-6 (アンバランス 1/4" [6.35 mm] TS)	
ダイナミックレンジ	110 dB (A-weighted)
THD+N	0.001% (1 kHz, +4 dBu, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.1 dB)
最大入力レベル	+16 dBu
ゲインレンジ	59 dB
入力インピーダンス	~1 M Ω

固定ライン入力7-8 (バランス 1/4" [6.35 mm] TRS)	
ダイナミックレンジ	113 dB (A-weighted)
THD+N	0.001% (1 kHz, +4 dBu, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.1 dB)
最大入力レベル	+17 dBu

ライン入力1-2 (バランス 1/4" [6.35 mm] TRS)

ダイナミックレンジ	112 dB (A-weighted)
THD+N	0.002% (1 kHz, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.2 dB)
最大出力レベル	+17 dBu

固定ライン出力3-4 (バランス 1/4" [6.35 mm] TRS)

ダイナミックレンジ	113 dB (A-weighted)
THD+N	0.002% (1 kHz, -1 dBFS)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.2 dB)
最大出力レベル	+17 dBu

ヘッドホン出力 (1/4")

ダイナミックレンジ	111 dB (A-weighted, 32 Ω load)
THD+N	0.002% (1 kHz, -1 dBFS, 10 mW/channel into 32 Ω load)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz (+/-0.2 dB)
最大出力	160mW (<1% THD, 32 Ω load)
最大出力レベル	+15 dBu (unloaded)
インピーダンスレンジ	32 Ω - 600 Ω

一般

その他の端子	(1) 1/8" (3.5 mm) MIDI入力 (1) 1/8" (3.5 mm) MIDI出力 (1) USB Type-C端子 (1) Power adapter input
電源アダプター	12VAC, 2 A, センタープラス (付属)
サイズ (w x d x h)	8.22 x 25.9 x 18.9 cm
重量	1.8 kg

仕様は予告なく変更になる場合があります。

商標及びライセンス

M-AUDIO および AIR Music Tech は、inMusic Brands, Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Ableton は Ableton AG の商標です。

Kensington と K&Lock のロゴは ACCO Brands の登録商標です。

macOS は、米国およびその他の国々において Apple Inc.の商標です。

Windows は、米国およびその他の国々において Microsoft Corporation の登録商標です。

その他すべての会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

♪ Memo ♪

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は、本保証の対象外となります。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポート へご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-1 9-2 3 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ： <http://m-audio.jp/support/>

- ・ 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。